

本校SSHの経過

- 第IV期 H29～R03 本校全生徒 理数系地域連絡協議会生徒 海外提携校生徒
- 第III期 H24～H28 本校全生徒 理数系地域連絡協議会生徒
- 第II期 H19～H23 本校全生徒
- 第I期 H16～H18 普通科SSHクラス

「理科好き生徒」から
「サイエンスリーダー」へ

本校SSHの現状と課題

《大学・企業・国際社会で活躍・貢献》
科学的事象や社会の諸問題を解決できるサイエンスリーダーの育成

探究の深化を図る

- 3年間全員系統的な課題研究
- フロンティア講座/フォーラム
- データベース管理
- 科学の世界
- S S 科目/理科基礎3科目

サイエンススペシャリスト育成

- 科学コンテスト
- サイエンスワークショップ
- 南高SSゼミによる指導・勉強会

国際性とコミュニケーション力

- 海外提携校
- SEやSDを取り入れた授業
- プレゼン・ディベート
- 海外研修

高大接続プログラム開発

- 本校独自のポートフォリオ
- 紙ベース「研究ノート」
- 学習履歴の可視化

目指す姿

- 多様化する課題への指導
- プログラミングやデータサイエンス教育の充実
- 国際性・協働する姿勢の育成
- inputからoutputできるコミュニケーション力の強化育成

これまでの成果

- 探究力・科学的思考力等総合的な力の獲得・伸長
- 国際社会や研究現場への高い関心
- 理系志望者が高い水準で定着
- 円滑な高大接続と進路実現
- 研究発表会や科学コンテストでの実績

課題研究の評価法の検討

- 本校独自のルーブリック
- パフォーマンス評価
- 生徒相互評価
- 複数担当者による総合評価

南高SSHを支援する組織の構築

- SSアカデミー
- SSゼミ
- 理数系地域連絡協議会
- 高大接続研究会

目指す姿

- 適切な観点別評価方法へ改良
- 整備された協力体制をさらに相互に有効活用するシステム化

これまでの成果

- 独自の評価方法の実践により、研究のレベルが向上
- 各機関や組織からの支援・協力を得て機能する協力体制

第V期SSH研究開発課題

新たな価値を創出し、未来を切り拓くフロンティアスピリット
～持続可能な科学技術人材育成システムの構築～

Society5.0で多様な人々と協働し、地球規模の様々な課題の解決にむけて、未来を切り拓く科学技術人材の育成

1 産学官・「南高SSアカデミー」との連携による課題研究プログラム「フロンティア探究」の進化

- 産学官との連携 → 情報活用力の強化
- 「南高SSアカデミー」との連携
メンター制度 → 研究指導・助言
持続可能な運営システムへ
- 課題発見力の強化と研究テーマ設定の動機付け

- サイエンスフォーラム
- フロンティア講座・深化ゼミ
- 科学の世界【教科横断型授業】

広い視点で課題を発見し、科学的アプローチによる解決方法を導く探究力の向上と深化を図る。

2 科学技術イノベーションをめざす国際共同研究プログラムの開発

- タイやガーナ等の海外提携校や交流校との共同調査・共同研究の実施
- オンラインによる研究発表交流の実施 → 東京農工大学教授によるプログラム指導
- 県・JICA等による連携先の新規開拓 → 台湾高雄市を検討

- SE, サイエンスダイアログ授業
- ディベート・プレゼン ○ 海外研修

国際的な視点や協働する力を養い、イノベーションを創出できる資質・能力を育成する。

3 学びを深め、未来へつなぐ課題研究評価方法の深化

- 指導と評価の一体化に向けて
探究評価コロキウム(仮称)
県教委の指導と県内高校との連携
→ 課題研究評価方法検討会

山梨県版「指導と評価の一体化ガイドブック」作成

- 高大接続プログラムの継続
山梨県高大接続研究会
・高校で身につけたい資質能力の共通理解
・ポートフォリオの深化

指導と評価の一体化を実現し、県全体の教科「理数」の設定の促進と探究活動の充実を図る。

4 理数系教育の拠点としてのネットワーク構築

- 探究活動指導における研究成果の発信
教員対象 課題研究指導研修会
・「授業作り研修」の一環
・課題研究プログラムの研究成果を発信
・探究活動の成果資料(課題研究データベース、論文集)の公開

- 地域の科学教育の発展のために
理数系教育地域連絡協議会
・理数教育の課題の共有
・「公開講座」「出前授業」等の実施

理数系教育の拠点として、学びの共有を図り、本県の科学教育の充実に寄与する